

日本政治学会 会報

The JPSA News

NO. 15

JUNE 1988

1988年度研究会企画について

本年度の研究企画は、別掲のようにまとまりましたが、ここではこの企画においてとくに配慮した点を中心にその特徴点をあげておくことにします。

〈共通論題A〉は、本年度の年報委員会と結合させて、新保守主義の台頭のもとの福祉国家の問題をとりあげます。これまで学会年報と研究会とが離れすぎているとの批判がありましたが、これはその批判にこたえたものです。司会者には年報委員長を、報告者には年報委員をあて、討論者には年報委員会外から登場してもらいました。

〈共通論題B〉は、今日のマルクス主義における「国家論ルネッサンス」という現象につづいて、「現代政治学」においても国家論の再生と復権という状況が発展しているなかで、国家論を主題とします。そしてそこでは単に外国の理論の分析に終らせることなく、あわせて日本国家論の課題を追究することになります。

〈分代会A〉は、今日の「大衆民主主義」的状況の深まりのなかで、その成立期の政治思想に焦点をあてます。〈分代会D〉は、これまでアメリカで支配的な政治理論であった多元主義理論がアメリカで問題視されはじめたときに、逆に日本ではそれが影響力をもってきたという状況にかんがみ、その再検討を課題とします。〈分科会E〉は、現代政治におけるリーダーシップの意義の増大のなかで、首相のリーダーシップをとりあげ、日本とイギリスを比較します。〈分代会B〉は、政策課程における野党や労働組合の役割を問題とします。これは、この数年間ずっと政策過程がとりあげられてきましたが、主として与党や官僚制が対象とされてきたことを考慮したものです。なお以上の分科会について、共通論題との関連を考

企画委員長 福井 英雄
慮して、従来の第1日目と第2日目への配置を逆にしたことをお断りしておきます。

〈分科会C〉と〈分科会F〉は、これまでの専門領域をこえた総合的なものとして設定しました。まず〈分科会C〉は、政治理論と政治過程論、国際政治論にまたがって、今日の情報化社会の進展にもなう政治に、理論と現実との両面からアプローチしていきます。次に〈分科会F〉では、日本とアジアの政治史や政治思想史、国際政治にまたがるものとして、アジア主義の問題を検討することになります。

以上の共通論題と分科会のいずれにおいても、本年度は報告者と討論者とをともに2名ずつに限定しました。これまでの研究会において、報告時間も討論時間も不足することが多かったということのを考慮したためです。これによって実のある研究会になればと願っています。

IPSA世界大会出席登録・ 個人会員申込について

渉外委員長 内田 満

IPSA第14回大会は、来たる8月28日から9月1日まで米国ワシントンDCで開かれますが、本学会渉外委員会（新宿区早稲田1-6-1 早大大学院政治学研究所気付）および事務局に登録申込用紙を準備して、出席ご希望の会員の便に供しています。また、個人会員申込用紙も同上個所に備えていますので、あわせてご利用いただければ幸いです。

1987年度 第4回理事会記録

本年3月26日、法政大学において理事会が行われ、次の各事項が報告、審議、承認あるいは決定された。

[委員会報告]

①企画委員会

福井委員長(1988年度)より、企画原案(別掲3頁参照)が報告され、承認された。

②年報委員会

有賀委員長(1987年度)より、近日刊行の予定である旨、報告された。

山口委員長(1988年度)及び三谷委員長(1989年度)より、研究会の運営等につき報告があった。

③文献委員会

阿部委員長(1988年度)より、下記の委員名及び編集状況について報告があり、承認された。

文献委員会委員：井上義比古(東北学院大学)、内田健二(岩手大学)、大嶽秀夫(東北大学)、大西仁(東北大学)、大谷明夫(福島大学)、斉藤誠(東北学院大学)、関口榮一(東北大学)、添谷育志(埼玉大学)、内藤俊彦(新潟大学)、新川達郎(東北学院大学)、畠山弘文(明治学院大学)、村松恵二(弘前大学)、星野修(山形大学)

④渉外委員会

内田委員長より、IPSA個人会員勧誘の件(別掲1頁参照)及び世界大会(ワシントン)の登録書類に関し説明があった。

[決算]

成沢常務理事より1987年度の決算報告(別掲4頁参照)があり、岩重監事より監査報告がなされ、承認された。

[予算]

成沢常務理事より1988年度の前算案(別掲4頁参照)が提案され、承認された。

[日本学術会議について]

松下理事長より、学術会議会員候補者として内田満、田口富久治の両会員が学術会議会員推薦管理会により資格認定されたこと、及び推薦人に升味準之輔、松下圭一、有賀弘、成沢光、半沢孝磨(予備者)の各会員を委嘱したこと、並びに推薦人会議の日程について報告があった。

[新名簿作成]

内山名簿作成臨時委員会委員長より、1988年度に作成する定期名簿改訂にあたって記載事項及び専門の分類方法につき提案があり、了承された。

[理事選出規程について]

公選理事辞退者補充をめぐり、理事選出規程に関し種々議論され、次回理事会に改正案を提出することが確認された。

[IPSA世界大会派遣者の件について]

松下理事長より、本年度の世界大会には内田会員が日本学術会議からの派遣者となることが決定された旨、報告された。また、成沢常務理事より、有賀会員及び佐々木会員はIPSA基金より旅費を支給することが基金運営委員会で承認された旨、報告された。

[新入会員]

1988年度研究会企画

本年度の研究会は10月1～2日に広島大学で開催されるが、企画委員会及び理事会において次の通り企画が決定された。

第1日

共通論題A 福祉国家の現状とその危機

司会 山口 定(大阪市立大学)

報告 加茂利男(大阪市立大学):福祉国家をめぐる問題状況

新藤宗幸(立教大学):日本における福祉国家の現状

討論 西尾 勝(東京大学)

河合秀和(学習院大学)

分科会A 政治思想

大衆民主主義の成立と政治思想

司会 今中比呂志(広島大学)

報告 小山 勉(九州大学):トクヴィルと二つの民衆社会像

関口正司(青山学院女子短期大学):J. S. ミルと大衆民主主義

討論 中谷 猛(立命館大学)

柏 経学(福岡大学)

分科会B 政策過程

政策過程における野党と労働組合

司会 村松岐夫(京都大学)

報告 谷 聖美(岡山大学):55年体制初期における社会党の政策的対応

久米郁男(神戸大学):労働運動再編成にともなう政治と行政

討論 升味準之輔(東京都立大学)

中野 實(茨城大学)

分科会C

情報社会と政治

司会 関 寛治(立命館大学)

報告 谷藤悦史(東北福祉大学):情報化社会と政治

山本武彦(静岡県立大学):情報と国際政治

討論 岡沢憲芙(早稲田大学)

佐藤幸男(広島大学)

第2日

共通論題B 国家論の復権と日本国家論

司会 篠原 一(成蹊大学)

報告 藪野祐三(北九州大学):現代政治学と国家論の復権

徳本正彦(九州大学):「国家論ルネッサンス」と日本国家論の課題

討論 岡野加穂留(明治大学)

田口富久治(名古屋大学)

分科会D 政治理論

多元主義の再検討

司会 西川知一(姫路獨協大学)

報告 高城和義(岡山大学):パーソンズの多元主義理論批判—今日の理論状況との関連において—

石田 徹(龍谷大学):多元主義と日本政治

討論 伊藤光利(名古屋市立大学)

日下喜一(青山学院大学)

分科会E 政治過程

首相のリーダーシップ—日本とイギリスの比較—

司会 田中善一郎(東京工業大学)

報告 五十嵐仁(法政大学):中曽根前首相の場合

中西輝政(三重大学):サッチャー首相の場合

討論 石川真澄(朝日新聞社)

高橋直樹(専修大学)

分科会F

アジア観の変遷—戦前と戦後—

司会 石田 雄(千葉大学)

報告 三輪公忠(上智大学):「中国非国論」とアジア主義の政策化—戦間期を中心に—

初瀬龍平(神戸大学):アジア主義の転換

討論 野村浩一(立教大学)

小泉允雄(摂南大学)

学 会 ニ ュ ー ス

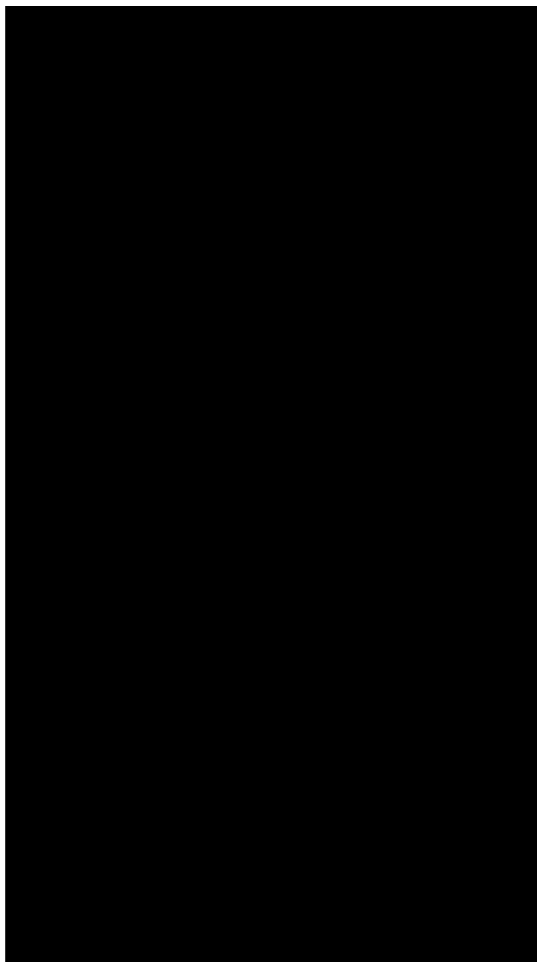
| 1987年度日本政治学会予算・決算 | | | |
|-------------------|-------------|---------------|---------------|
| | | 1987年度 予算額 | 1987年度 執行額 |
| 収入 (B) | 1. 前年度繰越金 | 6,775,065 | 6,775,065 |
| | 2. 会費収入 | 3,400,000 | 3,515,640 |
| | 3. 雑収入 | 160,000 | 128,960 |
| | 4. 年報特別基金返済 | 0 | 300,000 |
| | 収入合計 | 10,335,065 | 10,719,665 |
| 支出 (E) | 1. 研究会開催費 | 800,000 | 800,000 |
| | A. 研究会準備金 | 600,000 | 600,000 |
| | B. 報告者謝礼 | 200,000 | 200,000 |
| | 2. 委員会経費 | 450,000 | 450,000 |
| | A. 年報委員会 | 100,000 | 100,000 |
| | B. 企画委員会 | 140,000 | 140,000 |
| | C. 文献委員会 | 120,000 | 120,000 |
| | D. 渉外委員会 | 60,000 | 60,000 |
| | E. 選挙管理委員会 | 30,000 | 30,000 |
| | 3. 理事会経費 | 50,000 | 49,720 |
| | 4. IPSA学会分担 | 300,000 | 210,255 |
| 出 (E) | 5. 事務局経費 | 770,000 | 712,840 |
| | A. 理事長通信費 | 50,000 | 50,000 |
| | B. 運営費 | 50,000 | 50,000 |
| | C. 人件費 | 420,000 | 420,000 |
| | D. 経常費 | 250,000 | 192,840 |
| 6. 名簿作成積立金 | 150,000 | 150,000 | |
| 7. IPSA関係積立金 | 100,000 | 100,000 | |
| 8. 選挙管理費 | 350,000 | 321,810 | |
| 9. 年報特別基金 | 300,000 | 300,000 | |
| 10. 会報発行費 | 350,000 | 229,100 | |
| 11. 予備費 | 6,715,065 | 75,500 | |
| 支出合計 | 10,335,065 | 3,399,225 | |
| 差引残高 | | 7,320,440 | |

| 1988年度予算 | | |
|--------------|------------|---------------|
| | | 1988年度 予算額 |
| 収入 (B) | 1. 前年度繰越金 | 7,320,440 |
| | 2. 会費収入 | 3,550,000 |
| | 3. 雑収入 | 130,000 |
| | 収入合計 | 11,000,440 |
| 支出 (E) | 1. 研究会開催費 | 900,000 |
| | A. 研究会準備金 | 660,000 |
| | B. 報告者謝礼 | 240,000 |
| | 2. 委員会経費 | 560,000 |
| | A. 年報委員会 | 120,000 |
| | B. 企画委員会 | 160,000 |
| | C. 文献委員会 | 210,000 |
| | D. 渉外委員会 | 70,000 |
| | E. 選挙管理委員会 | 0 |
| | 3. 理事会経費 | 60,000 |
| 4. IPSA学会分担 | 250,000 | |
| 出 (E) | 5. 事務局経費 | 840,000 |
| | A. 理事長通信費 | 50,000 |
| | B. 運営費 | 50,000 |
| | C. 人件費 | 460,000 |
| | D. 経常費 | 280,000 |
| 6. 名簿作成積立金 | 200,000 | |
| 7. IPSA関係積立金 | 100,000 | |
| 8. 選挙管理費 | 0 | |
| 9. 会報発行費 | 350,000 | |
| 10. 予備費 | 7,740,440 | |
| 支出合計 | 11,000,440 | |
| 差引残高 | 0 | |

| 別会計(1) 名簿作成積立金 | |
|----------------|---------|
| 収入 | |
| 前年度よりの繰越 | 356,683 |
| 本年度積立 | 150,000 |
| 銀行預金利息 | 12,598 |
| 計 | 519,281 |
| 支出 | 0 |
| 差引残高 | 519,281 |

| 別会計(2) IPSA関係積立金 | |
|------------------|---------|
| 収入 | |
| 前年度よりの繰越 | 401,188 |
| 本年度積立 | 100,000 |
| 銀行預金利息 | 13,622 |
| 計 | 514,810 |
| 支出 | 0 |
| 差引残高 | 514,810 |

| IPSA基金 | |
|----------|-----------|
| 収入 | |
| 前年度よりの繰越 | 9,447,023 |
| 銀行預金利息 | 358,743 |
| 計 | 9,805,766 |
| 支出 | 0 |
| 差引残高 | 9,805,766 |



CSPT (Conference for the Study of Political Thought) について

すでにご存じの方も多いかとおもいますが、1967年カナダのTorontoで設立され、その後アメリカ・カナダを中心に活発な活動を続けている、政治思想とその歴史についての国際的な研究組織Conference for the Study of Political Thought (以下CSPTと略記)があります。この研究組織に日本の研究者も参加してほしいとの要請は前々からありましたが、昨年来とりわけ強い働きかけがなされるようになりました。そこで東京在住の数人の者が集まって相談した結果、とりあえずCSPTに参加する方向で検討を進めることになり、まず最初のステップ

として、かねて招待をうけていた今年のAnnual Meeting (4月8~10日、New York、テーマ: Liberalism and the Moral Life) および執行委員会に早稲田大学の藤原保信、松本礼二の両名が出席し、連絡と情報収集にあたりました。この研究会にはRawlsやPocockも参加し、報告と討論はともにたいへん充実した、興味深いものであったようですが、いずれにしろこの経験をふまえて、われわれとしてはCSPTの日本branchを名乗ることをきめました。政治学会の会員の中でこの研究組織に興味をおもちの方がおられましたら、後記の世話人にご連絡くだされば、ある程度のインフォメーションをさしあげることができると思います。

CSPTの活動の中心は毎年だいたい4月に開かれるAnnual Meetingですが、このほかに年2回のNews letterの発行があります。また会員になれば、政治思想・政治理論関係の次の雑誌の割引購入ができるとともに、これらの雑誌への投稿も容易になるようです。

- Political Theory
- Interpretation: A Journal of Political Philosophy
- The Canadian Journal of Political and Social Theory
- History of Political Thought
- Praxis International

年会費はいまのところ24ドルですが、CSPTは個人加入の組織ですので、入会を希望される方は直接Secretary-Treasurer宛にご送金ください。以下に必要とおもわれる名前を列記します。

- Chair—Melvin Richter (City University of New York)
- Editor, CSPT Newsletter—Michael Mosher (Tulsa)
- Secretary-Treasurer—Sharon N. Snowiss (Professor), CSPT, Political Studies, Pitzer College, Claremont, CA 91711

また、日本側の世話人は次の通りです。
佐々木毅(東大)、半沢孝磨(都立大)、藤原保信(早大)、松本礼二(早大)、渡辺浩(東大)、有賀弘(東大)

CSP Tの日本branchについて検討する過程で、わが国でも年に一回程度の政治思想(史)関係の研究集会を開催したらという話もでてきました。まだ具体的なものではありませんが、今年の11月にPocock教授が来日されるのを機会に第一回の集会を開けばよいとの説もあります。もしこの件について強い関心をおもちの方がおられましたら、あらかじめ

〒113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学社会科学研究所 有賀 弘

あてにご一報おきいただければ幸いです。集会が具体化した場合にはかならず連絡をさしあげることいたします。(文責・有賀)

事務局より

APPSA 個人会員申込と 大会参加勧誘について

The Asian Pacific Political Science Association (APPSA)事務局(National University of Singapore内)より、個人会員の申込および今年11月オーストラリアで開かれる大会への参加を勧誘する案内状が来ています。ご関心をお持ちの方は事務局に詳細をおたずね下さい。

名簿アンケートにご協力 ありがとうございました

会員名簿改訂のためのアンケートを4月にお送りいたしましたところ、多数のご回答をいただきありがとうございました。

新名簿には巻末に専門別の索引を掲載する予定です。分類した57の専門領域に関しましては不十分な点もあるかと存じますが、次回の名簿作成時に再検討することになっておりますので、ご了承下さい。

なお、200名位の会員の方々からはご返事を

いただくことができませんでした。そのため、再度回答をお願い致しました。なお、アンケート未着の会員は当事務局で索引を指定することはその主旨に反しますので、索引に記載しておりません。次の機会には是非ご記入下さい。

新名簿は研究会のご案内に同封できるよう作成を急いでおります。いましばらくお待ち下さい。なお、「会員の異動」は新名簿にインプット致しましたので、今回の会報には掲載いたしません。その旨、ご了承下さい。

会費納入について

会費納入のための振替用紙をお送りいたしました。早速多くの会員の皆様より会費が振り込まれました。ありがとうございました。

なお、昨年理事会での決定に基づきまして、本年度も3年度以上会費未納の会員の方々は除籍となります。除籍になった方々には今回の会報の郵送が最後となり、学会案内は郵送されませんので、ご了承下さい。再入会をご希望の方は入会申込書をお送り致します。

訃 報

5月11日、小松春雄会員(元理事長、顧問)が逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。

1988年6月20日

発行 日本政治学会事務局

成 沢 光

〒102 東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学80年館武藤研究室内
TEL 03-264-9729 直通
郵便振替番号 東京0-84250
加入者名 日本政治学会